

### ●拡大理事会 出席9名 委任2名 欠席2名 出席否定1名

で開かれ、2時間余りを費やしましたが、従来通りの結論の域を越えられませんでした。定刻に少し遅れて勢揃いが出来ました、それぞれ緊張した様子で開始されました。最初に会議の開催にはかなりの無理があることを承知の上での開催となっていて、種々の条件を付けて、それを承諾の上での出席者であることの確認がされ、異議はないとなりました。これまでの経過と同じ議論の繰り返しとしないとして、理事長をどう選ぶのかに議論が移り、推薦が上がり議論が深まりました。数人の氏名も上がりましたが、それぞれの言い分に理解されることが繰り返され、2時間余りの議論では結論に至りませんでした。

それでは輪番制、月担当制、事業担当制へと移りましたが、それぞれに無理が考えられ、なんとが合意出来るまでには至りませんでした。議論を尽くしたが、結論に合意できず最終決定を、予算総会直前の理事会で行うことになりました。

先週号にも少し説明させていただきましたが、年度が始まって諸処分や決定が必要になっています。里山の会では、備品の借用申請、事業申請、などが滞って影響が広がっています。早期に活動方針の確定、予算の決定、活動日程の決定が必要になっています。理事及び社員各位の一層のご協力をお願いします。もちろん先頭に立つべき理事各位の覚悟が、これまで以上に重くなっています。特に25周年事業を2021年5月11日の前に開催となれば、かなり厳しい日程になりつつあり、8月後半の第3回理事会での企画案決定となると期日が足りないのは明白です。ぜひ18日の予算総会では体制の確立が必須です。

ぜひ、ご参集お願いいたします。

### ●木津川希少種植生調査管理業務の植生調査が13日に5名の出席で実行されました

この事業は昨年と比較して管理面積が大きく増加して15,000平方メートルになっています。39カ所の調査箇所なので、かなり広範囲にわたります。そして3年目の調査になりますので、要領も徐々にわかりました。従って作業を通じて本来の業務目的である、希少種植物の保全管理に、どう効果があったのかについても考えなければなりません。作業に参加される皆さんも狙いをしっかりと押さえての作業と取り組んでいただく様をお願いいたします。結果だけを求めるのではなく維持管理保全に係る成果と課題を次年度に生かせるようまとめてください。

### ●木津川希少種植生調査管理業務 除草作業12日八幡市域と木津川市加茂地域で実施

除草作業では春の草は未だ柔らかく作業が行いやすい一面を持っています。刈り取った草の集積や運び出し作業も比較的行きやすく作業も軽快に行えます。これが秋になると、そうはいきません、多くの植物が冬を迎えるために茎が太く固くなります。自走式刈取り機械でも手に負えないほど固く変化します。同じ面積でも倍近くの時間が必要になります。従って契約除草回数ではなく自主的に除草回数を増やして、対応しているところが数か所あります。回数が増えますが、作業は、平易に除草が進みます。除草作業はハンマーモアが2台になって、運転者の負担が軽減され能率がアップしています。問題は集積が手作業なので、かなり重荷になり、機械化が出来ればと思います。できれば皆さんのご協力を願いたいものです。来週後半から集積運び出し作業になりますので、お手伝いをお願いします。

### ●イタセンパラ復元として事前学習会を13日の午後 大阪工業大学の綾史郎先生を再度尋ねました

前回に訪ねて以来、木津川のインターネット写真から青谷浜に巨大なワンドが出現しているのが見つかり、その付近が生息している池に隣接している様に見られます。まさに好条件に恵まれた様に思いました。誰が、なぜ、大量の石を此処に運び込んだのか、河川事務所に問合せも判らないようです。これを使ってワンドの復活も考えられるからです。綾先生のご意見は天然記念物の復活は素人には、かなり手ごわい仕事なのでから知恵が必要です。一般市民が可能な作業はとにかく少なく、地域の声、復活への動きを大きく盛り上げ

ることであり、そのことによって国土交通省や環境庁などの腰が上がるように努力することだと指摘されました。また府県レベルの行政が動きやすくすることが肝心かなめではないかという助言でした。16日には京都大学の竹門康弘先生を訪ねて、ご意見を伺ってくることを予定しています。木津川については先生が最先端を歩んでこられたようです。いい結果が出る事を期待しています。

●**青葉の集い目指す活動発表と展示掲載について** 京田辺市文化協会から集いに参加してほしいと大村さんに要請がありました。活動紹介をお願いしたいとのことでした。そこで事務局会議で検討した結果、展示物は中聖牛の写真を展示しようとなりました。舞台発表は普賢寺谷の自然の豊かさをカスミサンショウウオの成体発表とあわせて生育池に集まる動物のスライドビデオの上映を行うことになりました。これまで捕獲檻にイノシシが入った、アライグマが取れたと聞きますが、次から次へと様々な生き物が通過している実態が撮影された映像の公表は今回が初めて公開することになるものです。かなり反響をあると考えられます。これを見る限り生き物の生育環境は大変豊かですごい環境を残していると判定できるのではないのでしょうか、獣害に困っておられる農家の皆さんには、誠に申し訳ありませんが、相当豊かな環境が人里に押し寄せているものだと断定できます。

●**乙訓の自然を守る会からの活動視察日程が決まる** 25日 8:30 普賢寺小学校前集合 やまし里山の会が活動を始める相当以前から乙訓の取組みは有名です。すごい実績を積み重ねていたのが乙訓の自然を守る会でした。やまし里の会は、伝えられてくるお話を遠くからうらやましく聞いておりました。今回宮崎俊一さんから、やまし里山の会の活動を視察させてほしいとの申し入れに大変驚きました。400人を超える大組織からの申し入れだったからです。まことに光栄なこととしてお迎えすることになりました、農園の皆さんは懸命に草刈りなどに精を出して、きれいな里山農園へと懸命に頑張っています。カスミ池や炭焼き釜、里山農園と洞穴ルートをガイドする予定です。続いて10時には中聖牛と希少種植生調査管理個所などの木津川関係を案内し、11時から約1時間懇談交流会を里山の会事務所と予定しています。関係者の皆さんよろしく歓迎いたします。

●**2019年度予算総会 5月18日(土)15時開会** 京田辺市中央公民館 大ホール 先の3月27日の総会では決算総会に終わりましたので、5月18日(土)15時から京田辺市中央公民館で2019年度予算総会を開き活動方針と予算の決定及び役員を選出を行い、活動日程も確定することにしております。社員各位には誠に迷惑なことになりましたが、万障繰り合わせてご出席をお願いします。

●**レンリソウ観察会 5月18日(土)10時** 近鉄新田辺駅西口集合 山城大橋東詰めでの解散を12時ごろの予定で行います。近年レンリソウ観察会には開花時期の変化によって随分と期待はずれが多くありました。今年も昨年の異常高温や豪雨など激しい気候の変化が影響するのかと心配しましたが、平均的な開花がみられています。いい時期が訪れております。是非ご参加ください。時間に出発します。13時過ぎには途中にある神矢樋門の排水テストが計画されています。併せてご参加されると珍しい大滝が出現しますのをご覧になってください。木津川は河床が高く周囲の田んぼが木津川より低かったのです。従って、一帯に降った雨は農地や山間部の雨水を屋根よりも高い天井川を流れるようにして、低地に溜まる雨水を木津川に直接流し込むようにして、洪水を防いだのです。この天井川を撤去して自然流水方式に替えられたので、大雨で木津川の水位が上がると流し込めなくなるので、排水ポンプでくみ出す装置があちこちに設置されました。雨季が近づくとその装置の点検が行われることになり18日の午後にテストが行われます。なかなか迫力ある試運転です。一度はご覧になるといい経験になります。京田辺市の木津川堤防付近は浸水の常設地帯でした。こうした装置が設置されてかなり浸水の回数が少なくなり、浸水があっても短時間になり、農作物の被害が随分と減少していると聞いております。